

# 「本が読めない人の読書会」

開催の呼びかけ 2

「本から得る知識はとても大切」と、思っているものの

- ・なかなか本を読む時間がない。
- ・そもそも本が読めない。

という事で、前号で呼びかけた「本が読めない人の読書会」

けっこう評判で「おもしろそう！！」と声をかけてくれる人が意外に多く、下記の通り第1回目を開催します。それ以後については、集まった人たちと「読書会の持ち方」や「取り上げる本（初回は私の関心でのみ取り上げました）」やそもそも「読めない人」ばかりが集まっても廻っていかないので、「読んだ人」とともにどのように進めていくか等々も話し合えればと願っています。（「読書会」の中で決まっていくのか？それとも二次会の席で決まるのかは解りませんが・・・汗；）

という事で、第1回目は

日時：2019年11月17日（日）13時半～16時半

※会終了後二次会を駅前居酒屋にて行いますので合わせてご参加ください。

場所：多摩ボランティアセンター永山分室会議室

（多摩市永山3-9 東永山複合施設内）

最寄駅：京王・小田急永山駅 徒歩10分程

課題図書：『更生支援における「協働モデル」の実現に向けた試論

～再犯防止を止めれば再犯は減る』吉間慎一郎著

（L A B O, 2017年3,000円+税）

内容は、2018年6月のたこの木通信「ほんの紹介14回目」で、鶴田さんが取り上げています。今回は、鶴田さんも参加してくれるので、通信では書ききれなかった事も含めて、「ほんの話」を聞かせてもらいたいと思っています。

又、既に読んだ方やこれから読まれる方の参加が不可欠。そして、私と同様に読めない方たちの中で、この本に関心のある方にぜひ参加してもらい、それぞれの想いをそれぞれの暮らしの中で語り合えればうれしいです。

皆さん！！ぜひご参加ください！！

ちなみに「更生支援」は、法を犯した人を巡る話ですが、そこに限らず「させない」（＝「再犯防止」）事が支援とされる状況が多く、そうではないものがこの本から見出す事ができればと考え取り上げました。日々支援に煮詰まっている方のご参加もお待ちしています！！